

環境ビジョン 3

交流と教育・文化のまち

わたしたちの地球環境問題への関心の度合いは、世界から見ても非常に高いレベルであることがわかっています。しかし、一人ひとりの環境負荷の少ないライフスタイルへの転換や持続可能な地域社会づくりについてはあまり進んでいないのが現状です。

これは、これまでの環境教育・学習機会が、ライフスタイルや地域の課題を総合的な視点で捉えた具体的な取り組みへと結びついていかなかったからといえます。

本市には、先人から受け継がれてきた豊かな自然環境や歴史的・文化的遺産、伝統芸能といった地域文化を形成する数多くの地域資源が存在しています。

持続可能な地域社会の実現のためには、地域に住む一人ひとりがこうした地域の恵みを保全し、活かしながら、学校や地域が連携して環境教育・学習を進めることが大切です。

また、学校や地域をはじめ、自治体や海外との積極的な交流は、地域の特色をより一層高められるきっかけとなります。

わたしたちは、自然、歴史・文化資源を活かした魅力的な「新城らしさ」あふれる『交流と教育・文化のまち』を創造し、将来世代に引き継いでいきます。

1 環境教育

●拠点づくり

【環境教育拠点の整備】

地球温暖化や廃棄物などに見られる環境問題は、人のライフスタイルと密接に関わっています。こうした問題の解決のためには、現在の大量生産 → 大量消費 → 大量廃棄を基調にした高負荷なライフスタイルを、極力環境への負荷の少ないものへ速やかに変革していく必要があります。

それには、一人ひとりが、それぞれの日常行動が環境にどのような影響を与えているか、また、そのことが自分たちの生活や将来の世代にどのような影響を及ぼすかなど、人と人を取り巻く環境との相互作用について理解し、行動に結びつけていけるような環境教育の拠点の整備が重要な要素となります。

本市では、鳳来寺山参道の門前にある「鳳来寺山自然科学博物館」が環境教育の拠点として挙げられます。「足下の気づき」から 地域を知る → 何をすべきか考える → 実際に行動するというコンセプトの下でさまざまな講座、展示が行われています。



《鳳来寺山自然科学博物館の主な取り組み》

鳳来寺山を中心とした奥三河の自然に関する展示と、足元の自然をテーマにした特別展や、野外学習会、子ども向け自然講座、現地見学ツアーなどの活動を活発に行っています。

また、博物館友の会があり、市内はもとより県内外に多くの会員がいて博物館を活用しています。会員の有志によるボランティアグループ「博物館協力隊」（子どもから大人まで26名が登録）が結成され、博物館主催で開催する野外学習などの補助や環境整備活動、資料整理などを行うとともに、友の会主催の自然観察会などの講師などもつとめています。

郷土の自然について調査、展示、教育普及、資料収集するといった、さまざまな博物館活動を市民ボランティアとともに力をあわせて推進しています。



こども自然講座

◇野外学習会

実施日	テ ー マ	参加数	開催場所
4月29日(木)	作手高原の花を楽しむ	35	作手高里・清岳
5月23日(日)	鳳来寺山でモリアオガエルや初夏の生きものを観察しよう	48	鳳来寺山
6月6日(日)	東栄町周辺の地層と化石	44	東栄町
7月4日(日)	奥三河の滝めぐり	37	奥三河
9月12日(日)	川の生きものを調べよう	45	音為川、博物館
10月10日(日)	きのこを調べよう	45	うでこき山
11月14日(日)	岩古谷山の紅葉と岩壁の植物	27	東栄町
12月5日(日)	博物館周辺の地層と岩石	34	博物館周辺
1月16日(日)	水鳥を観察しよう	20	桜淵

◇子ども自然講座

実施日	テ ー マ	参加数	開催場所
7月22日(木)	キノコのふしぎ	4	博物館周辺
8月1日(日)	トンボやチョウのふしぎ	8	博物館周辺
8月22日(日)	古代人に挑戦！石器づくり	21	博物館周辺

◇ジュニアナチュラリスト養成楽級・川原の学校「石ころ教室」

実施日	テ ー マ	参加数	開催場所
8月8日(日)	石の見分け方と標本作り	13	豊川(上流～下流)
9月25日(土)	川のようにすや河岸段丘	9	
10月31日(日)	川原の石、石の故郷を訪ねて	15	
11月28日(日)	川砂の中の宝石探し まとめ	16	

◇生物多様性を学ぶ現地見学会

実施日	テーマ	参加数	開催場所
6月19日(土)	夏の棚田と生きものたち	10	島田と四谷千枚田
7月17日(土)	夏の湿原の自然	15	作手高原の湿原群
8月28日(土)	秋の棚田と自然	18	島田と四谷千枚田
2月5日(土)	新城の蛇紋岩地帯をめぐる	21	中宇利と黄柳野

【公民館活動の整備・充実】

市では、農地の保全、開水路・農道等施設の適正な管理保全による長寿命化とともに農村環境を保全する効果の高い取り組みを行う活動組織を支援しています。

現在、市内19地区で農地保全のための活動が行われ、そのうち11地区においては生態系保存のための実践活動も行われています。

◇活動状況

No.	地区名	活動組織名	主な活動
1	上平井	上平井地域環境保全隊	生物生息状況把握、水質モニタリング調査ほか
2	片山	片山地域環境保全隊	生物生息状況把握、田法面への植栽ほか
3	牛倉	牛倉地域環境保全隊	大宮川の生物状況把握、水仙の植栽
4	鳥原	鳥原地区環境保全会	希少種の監視及び生息状況の把握、施設への植栽ほか
5	浅谷	浅谷地域の環境を守る会	五反田川の水質・魚の生息調査、コスモス等の作付け
6	石田	石田の地域環境を守る会	ホタルなどの生息調査
7	豊島	豊島環境保全会	放流等を通じた在来生物の育成、生物生息状況把握
8	田代	田代地域環境保全会	在来生物の育成活動
9	黒瀬	黒瀬美土里会	水路内の生物生息状況把握
10	善夫	善夫守里隊	水路内の生物生息状況把握
11	菅沼	菅沼を良くしまい会	水路内の生物生息状況把握

●環境教育・学習

市では、身近な自然の様子から地球温暖化といったグローバルな環境問題にいたるまで、ニーズに応えた環境学習を実施しています。

《親と子の走る環境教室》

親と子の「走る環境教室」は、夏休み中の市内の小学生とその保護者を対象に参加者を募集し、マイクバスなどを使って、市内外のリサイクル工場や環境関連施設の見学や勉強会を通じ、環境問題に対して理解を深め、その対策について親子で考えるものです。



平成22年度は、浜岡原子力館と浜松科学館を見学し、親子でエネルギー問題の重要性や温暖化対策などについて学びました。

◆ 8月6日（金）

参加者数 児童7名 保護者5名

◆ 8月20日（金）

参加者数 児童2名 保護者2名

◇親と子の走る環境教室の開催状況

年度	見学先
H13	県下水道科学館（平和町）自然共生研究センター（岐阜県川島町）
H14	王子製紙株式会社春日井工場（春日井市）愛知県環境調査センター（名古屋市）
H15	トヨタ「里山学習館エコの森ハウス」（豊田市）
H16	愛知県下水道科学館（平和町）愛知県環境調査センター（名古屋市）
H17	川売・梅の里、四谷・千枚田（旧鳳来町）段戸・きららの森（設楽町）
H18	でんきの科学館、エコパルなごや（名古屋市）
H19	コカ・コーラ東海北工場、東邦ガス（株）ガスエネルギー館（東海市）
H20	中部電力川越火力発電所・川越電力館テラ 46（三重県川越町）
H21	あいち臨空新エネルギー実証研究エリア（常滑市）新舞子マリンパーク風力発電所（知多市）
H22	浜岡原子力館（静岡県御前崎市、浜松科学館（静岡県浜松市）

《市民環境講座》

市では、環境問題に取り組んでいる、若しくはこれから取り組もうとされているみなさんを対象に「環境活動に関する学習機会」を提供するために、平成16年度から毎年「市民環境講座」を開催しています。平成22年度のテーマは引き続き「地球温暖化」とし、環境カウンセラー・消費アドバイザーの浅野千恵美さん、ecoパーソナリティ・NPO法人環境市民理事の下村委津子さん、名古屋をフェアトレードタウンにしよう会代表の土井ゆき子さんをお招きし、多くのみなさんの参加を得ました。



- ◆ 8月8日（日） 講師：浅野千恵美氏
 どーする？地球のあした
 ～ストップ温暖化～
 新城市勤労青少年ホーム2階軽運動場
 参加者大人12人 子ども15人
- ◆ 12月5日（日） 講師：下村委津子氏
 買い物で変わる！私たちの暮らし
 新城文化会館大会議室 参加者36名

- ◆ 3月6日（日） 講師：土井ゆき子氏
 フェアトレード講演会&ミニコンサート
 第1部 フェアトレード講演会
 休憩 フェアトレードコーヒー等試飲
 第2部 ペルーの民族音楽コンサート
 西部公民館（千郷中学校体育館1階）
 第1部参加者74名、第2部参加者93名



《水生生物調査》

市では、市内小中学校の生徒や行政区と河川における水生生物調査活動を行っています。

ほぼ毎年、同じ地点の水生生物の調査をしますが、水質の状況を把握するとともに、地域の自然とふれあうことのできる良い機会となっています。また、地元の水生生物調査を実施することにより、地元の川を自分たちで守ろうという意識の高揚にもつながります。



◇水生生物調査実施の状況（平成22年度）

学校・団体名	河川名	実施日	参加人数
海老小学校	谷川	6月21日	11
舟着小学校	大入川	6月24日	12
東郷東小学校	五反田川	6月30日	53
千郷小学校①	野田川	7月1日	37
千郷小学校②	野田川	7月1日	37
千郷小学校③	野田川	7月2日	44
鳳来東小学校	乳岩川	7月5日	18
協和小学校	巴川	7月6日	8
東陽小学校	真立川	7月8日	20

八名小学校	宇利川	9月3日	53
石田区水生生物調査会	石田地内 庚申川支流	7月31日	50
舟着子ども会吉川支部 (旧吉川子ども会)	大峯川	8月21日	16
豊島環境保全会①	杉川	8月22日	36
豊島環境保全会②	殿田川支流(農業用水路)	8月22日	36
実施14回(10小学校・4団体)			計431名

残念ながら、行政側の都合により、平成20年度より水生生物調査のニーズ全てに対応できなくなっています。これは学校側からの調査依頼時期が集中することもひとつの要因として挙げられますが、対応できる人材の育成など問題解決を図っていく必要があります。

《地球温暖化に関する学習会》

持続可能な社会を構築していくためには、住民の方々の環境に配慮した行動も大切です。

市では、緊急な課題である気候変動などの地球温暖化問題に対し、状況を理解し、自ら考え、行動していただくため、要望により学習会を実施しています。

1授業90分を基本に、受講される方の習熟度によって講座内容を変更しています。



◇地球温暖化に関する学習会実施状況(平成22年度)

団体名等	主な内容	実施日	参加人数
新城小学校	温暖化防止教室	6月29日	84
稲木地区子ども会	温暖化防止教室	8月1日	50
実施2回(1小学校・1団体)			計134名

《ごみに関する環境学習》

市では、ごみの出し方や分け方をはじめ、処理の方法などについて実際に現場を見学して理解してもらうことを目的に、市内小学校の4年生を中心にごみに関する学習を実施しています。

◇ごみに関する学習会実施状況（平成22年度）

見学日	学校等名	見学者数	見学施設			見学時間
			クリーンセンター	資源集積センター	鳥原埋立処分場	
5月11日(火)	東陽小学校	18人	○	○	○	9:00～11:30
5月12日(水)	千郷小学校(松・竹組)	69人	○			9:20～11:20
5月13日(木)	鳳来東小学校	8人	○		○	9:30～11:30
5月14日(金)	千郷小学校(梅組)	34人	○			9:20～10:35
5月17日(月)	新城小学校	84人	○		○	9:00～11:50
5月18日(火)	東郷東小学校	51人	○			9:30～10:30
5月19日(水)	舟着小学校	10人	○			9:30～11:00
5月24日(月)	鳳来中部小学校	37人	○			9:20～10:45
5月25日(火)	東郷西小学校	50人	○		○	9:10～12:00
5月26日(水)	舟着小学校	10人			○	9:30～10:30
6月1日(火)	八名小学校	49人	○	○	○	9:00～11:00
6月14日(月)	巴小学校	11人	○		○	9:20～11:30
6月22日(火)	山吉田小学校	9人	○		○	9:30～11:30
6月28日(月)	庭野小学校	8人	○		○	9:10～11:30
7月27日(火)	細川睦平長寿会	30人	○			9:30～10:30
8月25日(水)	老人クラブ連合会	40人	○	○		9:30～11:00
1月28日(金)	商工会(中国人研修生)	4人	○			13:30～15:30
実施17回（12小学校・3団体）						計512名

《水道に関する環境学習》

市では、子どもたちに水道に関する基礎知識を学ぶことにより、水環境に対する興味と関心をもってもらうことを目的に、市内小学校4年生を対象に水道教室を実施しています。

水道講座（パワーポイントによる水道の基礎知識の学習および簡易急速ろ過実験）および、希望校については鯉淵浄水場はじめ、それぞれ地区の浄水場見学を実施しています。

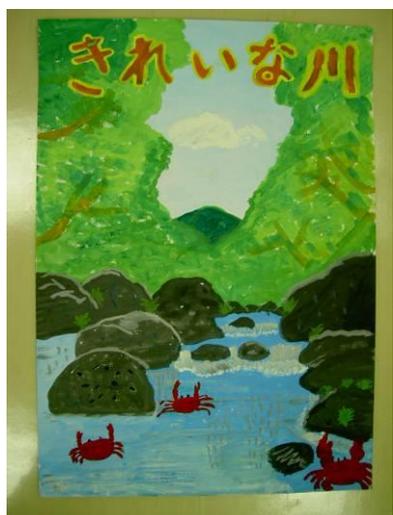
◇水道に関する環境学習実施状況（平成22年度）

学校名	内容	実施場所	実施日	参加人数
東陽小学校	講座・見学	東陽小学校・大野浄水場	6月8日	16名
山吉田小学校	講座・	山吉田小学校	6月9日	7名
鳳来東小学校	講座・見学	鳳来東小学校・東部、川合浄水場	6月14日	6名
舟着小学校	講座・見学	鯉淵浄水場・桜淵水道監視センター	6月15日	9名
東郷西小学校	講座・見学	鯉淵浄水場・桜淵水道監視センター	6月16日	47名
東郷東小学校	講座・見学	東郷東小学校	6月17日	49名
新城小学校	講座・見学	鯉淵浄水場・桜淵水道監視センター	6月21日	81名
庭野小学校	講座・見学	鯉淵浄水場・桜淵水道監視センター	6月22日	7名
千郷小学校	講座	千郷小学校	6月23日	100名
鳳来中部小学校	講座	鳳来中部小学校	6月25日	35名
八名小学校	講座・見学	鯉淵浄水場・桜淵水道監視センター	6月28日	45名
開成小学校	講座	開成小学校	6月30日	9名
鳳来寺小学校	講座	鳳来寺小学校	7月1日	9名
実施20回（13小学校・20クラス）				計420名

《環境ポスターコンクール》

市では、ごみの減量化・資源リサイクル・環境美化の意識を高揚し、環境問題に関心を持っていただくため、社会科の授業で「ごみ」について勉強している小学4年生を対象に、環境ポスターの募集を行っています。平成22年度は188点の作品が寄せられました。

◆金賞2名、銀賞3名、銅賞5名、入選10名



平成22年度金賞作品

《しんしろエコ・ライブラリー》

市では、環境図書などを通して、さまざまな情報を皆さんに提供し、共に考え、その対策を進めていくための契機になればと、市内在住の方を対象に無料で貸し出しを行っています。

この事業は、市内のスーパーなどが取り組んでいる「レジ袋有料化」による収益金を「環境関連の資金として使用して欲しい」と1事業所から市に寄付をいただいたことから始まりました。



◇貸出状況（平成22年度）

品名	件数
図書	7
DVD	4
	計11件

《チャレンジ25新城》



市では、市民のみなさん、事業所がひとつのチームとなり、温暖化の防止施策を無理なく、楽しく、できる限り大きな成果を挙げることを目的として「チーム・マイナス6%しんしろ」を結成し、平成22年度より、国の動きに合わせて「チャレンジ25新城」へ移行しました。

多くの方にこの取り組みを知っていただくために、さまざまな機会を通じて、PR活動を実施しています。

■ 「チャレンジ25」って何するの？

CO₂削減のために、具体的な「6つのチャレンジ」を提案しています。チーム全員が、日々のちょっとした気遣いを積み重なれば、確実に大きな削減効果が期待できます。

- | | |
|-----------------------|------------------------------------|
| 1. エコなスタイルを選択しよう | 4. ビル・住宅のエコ化を選択しよう |
| 2. 省エネ製品を選択しよう | 5. CO ₂ 削減につながる取組を応援しよう |
| 3. 自然を利用したエネルギーを選択しよう | 6. 地域で取組む温暖化防止活動に参加しよう |

◆平成22年度末登録数 個人1,684名 団体8団体

◇平成22年度 チャレンジ25新城の活動状況

実施日	活動の内容
4月1日	今年度から、これまでの「チーム・マイナス6%新城」を軸にした普及啓発から「チャレンジ25新城」へと以降することとなりました。
4月12日	今年度第1回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。開催時期や場所、内容などを話し合いました。また、キャンドルナイトイベントを含む市民意識の醸成を図るための活動を企画、運営する「クールアースデー実行委員会」と業務委託契約について調整を行いました。 市民体育館第1会議室 参加委員11名
4月18日	新城文化会館はなのき広場で開催された、第64回リサイクルフリーマーケットにおいて、電気自動車の同乗体験会を実施しました。 新城文化会館周辺道路（約1キロメートル）を走行 同乗体験会参加者20名
5月18日	今年も環境課の窓に「緑のカーテン」を作るため、ゴーヤの苗（8本）を植えました。市役所庁舎などでも、それぞれの課が工夫を凝らして取り組みを始める予定です。
5月19日	庁内のエコオフィス推進員会議において、今年も省エネ行動の一つとして庁舎を利用した「緑のカーテン」に取り組むことになりました。市役所内の17課、12施設で取り組み予定。

	<p>【取り組み課（施設名）】</p> <p>農業課、都市計画課、下水道課、水道課（仮設庁舎）</p> <p>観光課（鳳来・開発センター）</p> <p>森林課（鳳来総合支所）</p> <p>商工課（勤労青少年ホーム1階）</p> <p>立地課・開発室（勤労青少年ホーム2階）</p> <p>環境課（市民体育館）</p> <p>養護老人ホーム（養護老人ホーム寿楽荘）</p> <p>作手診療所（作手診療所）</p> <p>生活衛生課（清掃センター、しんしろ斎苑）</p> <p>税務課、市民保険課（本庁舎1階）</p> <p>企画課（本庁舎2階）</p> <p>へき地医療支援室（市民病院）</p> <p>監査委員事務局（はつらつセンター）</p>
5月22日	市内にある「横浜ゴム株式会社新城工場」で開催された「千年の杜第2期植樹祭」に、昨年に引き続いて参加しました。多くの方といっしょに汗をかき、いろいろな樹種を植えることができました。
6月14日	今年度2回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。実行委員会が創出する今年のキャンドルデザイン案の検討やチラシの確認などを行いました。 市民体育館第1会議室 参加委員13名
6月17日	市内幼稚園・保育園の園長会において、7月7日のクールアース・デーに、今年で2年目となる「市内一斉気温測定」実施の協力を呼びかけました。
6月29日	市内小学校(新城小)4年生を対象に、温暖化教室を実施しました。 また、先生や児童を対象に電気自動車(アイミーブ)の体験乗車会も開催しました。 参加者84名
7月3日	「ツール・ド・新城2010」会場にて、電気自動車の展示、チャレンジ25新城のPRを実施し、温暖化防止を呼びかけました。また、雨の中、2時間エンデューロ・ママチャリ部門に2チームが参加し、Zチームが4位、Aチームが6位と大健闘しました。
7月4日	「ツール・ド・新城2010」会場にて、電気自動車の展示、ソーラークッキングなどを行い、温暖化防止と自然エネルギーの利用についてPRしました。また、チャレンジ25キャンペーンの登録も行いました。 2日間の登録数 37名
7月7日	「クールアース・デー」の取り組みとして、昨年に続き「市内一斉測定」を実施しました。測定箇所は、幼稚園、保育園、支所、本庁など24施設で行われました。 調査結果などの詳細はこちら
7月21日	今年も市役所で実施した「緑のカーテン」で採れたゴーヤなどを、市民保険課前の待合室で配布を始めました。
7月31日	今年も石田地区で計画された「ふるさとの環境を考える～水中生物調査会～」において、職員が水生生物調査に協力しました。 参加区民60名
8月1日	稲木地区の子ども会で温暖化教室を開催しました。また、児童や保護者を対象に電気自動車「アイミーブ」の体験乗車会も開催しました。 参加者50名

8月6日	今年度第1回の親と子の走る環境教室を開催しました。浜岡原子力館などでの見学を通して、親子で環境問題に対する理解を深めました。 参加人数大人5名、子ども7名
8月8日	今年度第1回目の市民環境講座（どーする？地球のあした～ストップ温暖化～）を開催しました。 勤労青少年ホーム軽運動場 参加者36名 チャレンジ25登録者11名
8月10日	今年度第3回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。開催に向けた今後のスケジュールの確認や実行委員会が行う「環境紙芝居」の選定などを行いました。 市民体育館第1会議室 参加委員12名
8月20日	今年度第2回の親と子の走る環境教室を開催しました。浜岡原子力館などでの見学を通して、親子で環境問題に対する理解を深めました。 参加人数大人2名、子ども2名
10月1日	今年度第4回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。会場内の各園の配置やメインキャンドルの調整、環境紙芝居の練習などを行いました。 市民体育館第1会議室 参加委員15名
10月5日	山形県高島町議会視察対応(7名)。市の環境の取り組みなどについて説明しました。
10月19日	「キャンドルナイト新城2010」で行う環境紙芝居の練習を実行委員会の皆さんと行いました。 市民体育館競技場 参加委員10名
10月20日	今年度第5回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。当日の準備・スケジュールの確認や、環境紙芝居の最終練習などを行いました。 市民体育館第1会議室 参加委員13名
10月23、24日	「JAまつり」会場（JA愛知東グリーンセンターしんしろ）にて、電気自動車「アイミーブ」の展示、緑のカーテン倶楽部コンテスト2010審査結果公表・表彰状などを行い、温暖化防止などのPRを実施しました。また、チャレンジ25キャンペーンの登録も行いました。 チャレンジ25登録者13名
10月30、31日	天候不良により10月30日（予備日31日）開催予定のキャンドルナイト新城2010は実施することができませんでしたが、多くの方のご期待、サポートにお応えするために、次のとおりイベントを改めます。 ○開催日時 平成22年11月20日（予備日21日） 午後4時から午後8時まで ○場 所 新城文化会館はなのき広場周辺
11月9日	熊本県菊池市議会視察対応(9名)。市の環境の取り組みなどについて説明しました。
11月10日	環境課室の前の通路に「フェアトレード・紹介コーナー」を設置しました。このコーナーでは、缶コーヒー・コーヒー豆・チョコレートなどを紹介しています。
11月14日	電気自動車の展示やチャレンジ25新城登録受付のため、今年も県環境保全課といっしょに「つくで祭り」に参加しました。チャレンジ25登録者数70名

11月20日	<p>新城文化会館はなのき広場にて、キャンドルナイト新城2010を開催しました。 参加保育園・幼稚園13園、キャンドル2000本以上が点灯され、会場では毎年恒例の環境紙芝居の実施や、今年はフェアトレード紹介コーナーも設置しました。 来場者数2000人</p>
12月5日	<p>今年度第2回目の市民環境講座(買い物で変わる!私たちの暮らし)を開催しました。 文化会館大会議場 参加者36名 チャレンジ25登録者数1名</p>
1月18日	<p>今年度第6回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。今年度の反省点と来年度に向けた取り組みなどを協議しました。 市民体育館第2会議室 参加委員13名</p>
2月25日	<p>今年度第7回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。来年度に向け、イベント趣旨の情報発信方法やメインキャンドルのテーマなどを協議しました。 はつらつセンター会議室 参加委員12名</p>
3月6日	<p>今年度第3回目の市民環境講座(フェアトレード講演会)を開催しました。今回は第1部をフェアトレード講演会、第2部を南米民族音楽コンサートとして開催し、講演会後の休憩時には、フェアトレードコーヒー・チョコレートの試飲試食タイムも行いました。 西部公民館(ちさと館) 第1部参加者74名、第2部参加者93名 チャレンジ25登録者数8名</p>



2 歴史・文化

●歴史的・文化的環境の保全整備

【史跡、名勝、天然記念物や建造物の保持】

《環境整備の実施》

国指定史跡長篠城跡をはじめとした城跡や古墳等の史跡、県指定天然記念物長の山湿原や清岳向山湿原などの適正な環境維持を行うため、地元市民等の協力により草刈り等の環境整備を行いました。



長ノ山湿原



宇利城跡

《天然記念物の保存》

作手保永地内に所在するオハツキイチョウは、全国で3例目と思われる雄株で希少価値が高いことなどから、その保存・保護に努めるため市の天然記念物に指定されました。



見代のオハツキイチョウ

◇指定文化財の状況

平成22年度末現在

	種別	名称	所在地	指定年月日
国指定文化財	建造物	東照宮	門谷	S28. 11. 14
		鳳来寺仁王門	門谷	S28. 11. 14
		望月家住宅	黒田	S49. 2. 5
	絵画	絹本著色三千仏名宝塔図	中宇利	H 6. 6. 28
	彫刻	木造薬師如来坐像	庭野	S 6. 12. 14
		木造阿弥陀如来坐像 附 木造観音菩薩坐像	巢山	S52. 6. 11
	無形民俗	三河の田楽	門谷・七郷一色	S53. 5. 22

	史跡	長篠城跡	長篠	S 4. 12. 17
	名勝	鳳来寺山	門谷	S 6. 7. 31
		阿寺の七滝	下吉田	S 9. 1. 22
	天然記念物	乳岩及び乳岩峡	川合	S 9. 1. 22
		馬背岩	豊岡	S 9. 5. 1
黄柳野つげ自生地		黄柳野	S19. 3. 7	
		甘泉寺のコウヤマキ	作手鴨ヶ谷	S47. 5. 26
国登録文化財	種 別	名 称	所在地	指定年月日
	建造物	旧黄柳橋	乗本	H10. 9. 2
		瀧川家住宅主屋	出沢	H17. 2. 28
		瀧川家住宅長屋門	出沢	H17. 2. 28
		瀧川家住宅祠	出沢	H17. 2. 28
		旧大野銀行（大野宿鳳来館）本館	大野	H21. 1. 8
		旧大野銀行（大野宿鳳来館）土蔵	大野	H21. 1. 8
県指定文化財	絵画	甘泉寺の涅槃図	作手鴨ヶ谷	S47. 6. 7
	彫刻	木造十一面観音立像	杉山	S32. 1. 12
		木造不動明王立像	巢山	S53. 3. 15
		木造熊野三所懸仏	巢山	S54. 3. 22
	無形民俗	信玄原の火おんどり	竹広	S40. 5. 21
		乗本万灯	乗本	S51. 7. 14
		南設楽のほうか	大海・布里・一色 塩瀬・源氏・名号	S58. 9. 14
		設楽のしかうち行事	能登瀬	S58. 3. 7
	史跡	宇利城跡	中宇利	S32. 9. 6
		旗頭山尾根古墳群	八名井	S53. 5. 29
		断上山古墳 9・10号墳	大宮	S53. 10. 16
	名勝	満光寺庭園	下吉田	S49. 7. 3
	天然記念物	須山のイヌツゲ	作手清岳	S29. 2. 5
		ムカデラン自生地	川合	S30. 5. 6
		ねずの樹	門谷	S30. 7. 1
長ノ山湿原		作手岩波	S48. 11. 26	
	中宇利丸山の蛇紋岩植生	中宇利	S55. 2. 12	
市指定文化財	種 別	指定数	名 称	
	建造物	8	能舞台、満光寺の山門、薬師堂他	
	絵画	3	太田白雪画像、鳥居勝商磔殺の図他	
	彫刻	29	木造十一面観音立像、木造大日如来坐像、木造子安観音立像、石造庚申碑、木造神馬、石造閻魔大王他	
	工芸品	6	能装束・能面、鰐口、唐の頭、喚鐘、鉄砲、梵鐘	
	典籍	8	太田白雪自筆著書、太田白雪「きれぎれ」他	
	古文書	38	今川義元証文、今川氏真証文、菅沼家家譜、慶長9年検地帳、御觸書留帳（町役場日記）等	
	考古資料	7	大ノ木遺跡他遺跡、茶臼山古墳他古墳出土品等	
	歴史資料	1	吉田川井堰引船図 附 井堰御普請関係文書	
	無形	3	祭礼能、立物花火、鳳来寺硯製作	
	有形民俗	7	石座石、服部神社伝来赤引糸関係遺物他	
	無形民俗	13	新城歌舞伎、鍋づる万灯、名越神楽、天王祭他	
	史跡	64	黒瀬遺跡、摩訶戸古墳群、新城城跡、信玄塚、富賀	

			寺中世墓地、芭蕉句碑、蟻塚、今水寺跡他
	名勝	4	鳴沢の滝、桜淵、鮎滝、富賀寺庭園
	天然記念物	24	白鳥神社の大スギ、ヒメハルゼミ、中央構造線長篠露頭、見代のオハツキイチョウ他



国指定文化財 望月家住宅【建造物】



国指定文化財 木造薬師如来坐像【彫刻】



県指定文化財 信玄原の火おんどり【無形民俗】



県指定文化財 設楽のしかうち行事【無形民俗】



市指定文化財
ミカワバイケイソウ自生地【天然記念物】



市指定文化財 富賀寺庭園【名勝】

【歴史・文化の活用】

《歴史・文化関連施設》

「鳳来寺山自然科学博物館」

鳳来寺山自然科学博物館は、国指定の名勝天然記念物・鳳来寺山を中心に、自然の宝庫である東三河を研究するため昭和24年9月に結成された「東三河の地質と鉱物の会」が田口鉄道鳳来寺駅の公舎を改造して開館した、田口鉄道自然科学博物館が前身になります。

そして、昭和38年4月26日、元鳳来寺村長で林業家の丸山喜兵衛氏の寄付により、日本初の二重展示方式を取り入れるなど全国的にも画期的な町立の自然科学博物館が建設されました。

各自然分野の専門家である学術委員による野外学習会などの教育普及活動は、開館時からたゆまず開催しています。また、展示においては、鳳来寺山をはじめとした当地域の地学、動植物などを幅広く展示しています。

また、県内最大規模の植物標本を収蔵するなど、自然資料の収集保存活動も行っています。



鳳来寺山自然科学博物館

「設楽原歴史資料館・長篠城址史跡保存館」

日本三大決戦の一つとされる長篠・設楽原の戦いは、織田・徳川連合軍が初めて新兵器鉄砲(火縄銃)を大量に使用し、その威力をまざまざと見せつけ、後の戦術に一大変革をもたらした日本史に残る著名な戦いです。設楽原歴史資料館、長篠城址史跡保存館には、戦国の分岐点を演じた「鉄砲の戦いー設楽原の決戦」にまつわる人、経緯、火縄銃の果たした役割・その歴史を展示しており、織田・徳川連合軍が陣地の前にめぐらした武田騎馬軍の進撃を防ぐための馬防柵も再現しています。

また、設楽原歴史資料館には、日本開国の基となった幕末の日米修好通商条約調印の立役者・岩瀬忠震についての資料も展示しています。



設楽原歴史資料館



長篠城址史跡保存館

「作手歴史民俗資料館」

作手高原には、「全国重要湿地 500」にも選定されている広大な湿地帯があり、人々は原始・古代から現代に至るまで、その湿地をたくみに利用してきました。

作手歴史民俗資料館には、こうした風土の中で育まれた人々の歴史、民俗や湿地についての資料が集められています。



作手歴史民俗資料館

《新城ふるさとマイスター》

趣味や仕事などで、豊富な知識や経験、優れた技術を持つその道の達人「新城ふるさとマイスター」が、地域での講演会や体験型行事の先生として、とっておきの技や知恵をお教えします。現在のふるさとマイスターは、次の方たちです。

◇新城ふるさとマイスター認定者一覧

氏名 【内容】	氏名 【内容】
藤田 萬吉 【木彫】	河部 義通 【柿酢】
林 吉宏 【農村家庭のしきたり】	滝川 英昭 【メンタルヘルス】
杉浦エリザベス・森田紀代美 【二ヶ国語絵本読み聞かせ】	岡田 真澄 【世界の桜】
竹本 政一 【陶工芸】	大井 みどり 【パッチワーク】
原田 弘子 【藍染】	古市 正一郎 【マジック（手品）】
菅谷 哲也 【火縄銃研究】	黒田 千歳 【和紙の花】
	菅谷 年弘 【趣味の庭造り】

《新城まちなか博物館》

新城まちなか博物館は、新城の風土の中で生まれた新しいタイプの博物館活動で、仕事場や生活の場がそのままミュージアムであるということです。

「まち」の活動や暮らしの工夫がそのまま博物館であり、生涯学習のキャンパスとなります。順次まちなか博物館の指定を進め、現在は18館になりました。

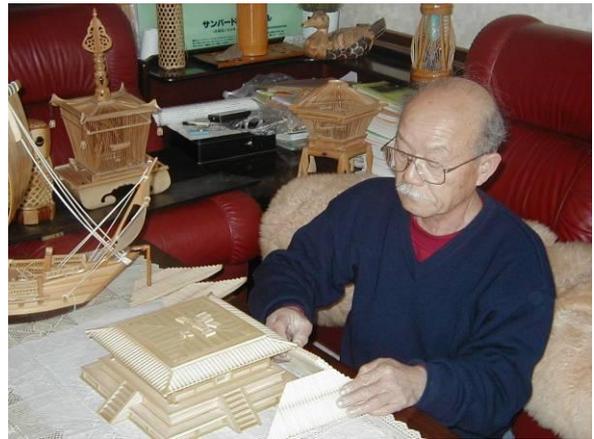
◇新城まちなか博物館指定一覧（平成 22 年度末現在）

No.	博物館名	内 容
1	日野屋商店	酒蔵
2	中西農村民具室	明治時代からの農村民具の展示
3	大原商家民具室	明治時代からの商家民具の展示
4	はたおり工房	高機による機織り
5	馬場彫金工房	鋼板のレリーフ・器の作成
6	藍弘苑	本藍による絞り染め
7	出沢やままゆ養蚕所	やままゆ施設見学・養蚕体験
8	郷土の食品・さくら工房	そば・五平もち作り体験
9	竹細工工房	虫かご・歴史的建造物の制作
10	寒峰窯（陶工芸）	陶芸及び制作

12	イーハートープ吉川（染色工房）	染め絵制作
13	竹工房・雅夢	竹細工
14	明神窯（竹炭）	釜入れ・釜出し・材料集め体験
15	エコファーム河部自然農園	果樹栽培と柿酢作り
16	(有)伸昌 [しんしょう]	銅版を使った折鶴作り
17	ヴァイオリン工房 Sadaprimo	ヴァイオリン製作
18	医王寺民俗資料館	農具、家庭用品、鉱物、岩石等の展示



出沢やままゆ養蚕所



竹細工工房



竹工房・雅夢



エコファーム河部自然農園

3 交流

●環境交流

【自治体、NPO・NGO等との交流】

近隣自治体や同様の問題を抱えている自治体、NPO・NGO等との交流を深めることは、情報の共有化による取り組みの連携を図ることができるなどのメリットがあります。

《キャンドルナイト新城》

市では、私たちの現在のライフスタイルを少しでも改善するためのきっかけづくりとして「キャンドルナイト新城」を開催しています。

このアクションは、公募の市民実行委員会による「開催の趣旨づくり」から始まりました。

開催時期や場所、方法などが企画立案され、毎年多くの方の参観を得ています。

開催5回目となった平成22年度は11月20日、文化会館はなのき広場で実施され、約2,000名ものお客様がいらっしゃいました。会場は、幼稚園・保育園のキャンドルが並び、暖かな灯火に包まれました。

実行委員会では、毎年「メインアート」を作成しており、会場を訪れる方々の楽しみにもなっています。今回は市制5周年記念の「市の花、木、鳥」である、ササユリ、ヤマザクラ、コノハズクを創出しました。

キャンドルナイト新城2010 開催の主旨

いま、地球温暖化問題が深刻化しています。

このままの状態では温暖化が進むと、水や食べ物の不足など様々な問題が起こり、次世代の生存についての危機がくると言われています。

温暖化の原因は、たくさんの水や電気、化石燃料（石油、ガソリンなど）を使い、そして、たくさんのごみを捨てるといったわたしたちのいまのライフスタイルにあります。

わたしたちがライフスタイルを見直すことで、温暖化問題は解決の方向に向かいます。

こうしたことから、仲間や家族、学校、会社など様々なグループで「電気を消してスローな夜」を感じ、今一度、生活の原点を見つめ直すきっかけづくりになればと思い、ここ新城市から「みんなのチカラ」で行動する参加型イベント「キャンドルナイト」を行っています。

あたたかな灯火に想いを込め、地球に優しい取り組みとしていきます。



《日本の環境首都コンテスト、同全国フォーラム、同東海地域交流会》

市では、市民（NGO）の視点からの環境自治体づくり支援およびNGOと自治体さらには自治体間の環境問題に関する情報の相互交換の促進を目的とした「日本の環境首都コンテスト」に参加しています。コンテストは、持続可能な地域社会の実現のためにNGOが重視する取り組みの有無について質問・審査されます。

新城市はこのコンテストを「市民の環境施策の提案書」として捉え、第1回目からこのコンテストに参加しています。

◇日本の環境首都コンテスト成績

参加年度	総合順位	人口規模別順位	参加年度	総合順位	人口規模別順位
H13年度	27位	3位	H18年度	3位	1位
H14年度	24位	2位	H19年度	5位	1位
H15年度	8位	2位	H20年度	5位	1位
H16年度	2位	2位	H21年度	5位	1位
H17年度	2位	1位	H22年度	6位	1位

※平成17年度から合併後の新城市として参加。

※人口規模5万人以下から5万人～10万人に区分変更。

さらに、コンテストが自治体の環境施策向上に活用されるよう、自治体とネットワーク合同の研究会や職員研修、地域ブロックごとに交流会が開催され、本市も参加しています。

◇交流会開催状況

区分	時期	開催場所
全国フォーラム	11月17日～18日	水俣市総合もやい直しセンター「もやい館」
中部環境5市サミット	12月27日	安城市役所

《森と人をそだてる森林総合産業創出プロジェクト》

昨今の森林関連産業を取り巻く状況は厳しいものがあり、山村の過疎化や高齢化により林業に携わる人が減少してきたこと、採算の合う産業として成り立ちにくいことなどによって、放置される森林が増え、林業から人々の関心が離れてしまいました。

そんな状況を背景として、林業や製材業だけではない多様な角度からの「森との関わり方」を創出し、森林に関わる人材育成と新産業を創造することを目的として、平成18年11月16日に「森と人をそだてる森林総合産業創出プロジェクト」が地域再生計画として認定されました。



この計画は、具体的には市内の森林NPOの活動を中心として、森林に関する基礎知識の学習会や間伐・枝打ち・下草刈りなどの技術を覚えるための講習会の開催することにより、森林整備と人材育成のしくみを作り上げ、森づくりと人づくりを進めていくものです。

平成22年度においては、初心者・中級者・上級者3コースの講習会を計25回開催し、子供から大人まで、市内外から260名の方が参加されました。